

会 議 名	第3回港区放課GO→クラブあざぶ運営事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和3年11月11日（木曜日） 午後5時10分から午後7時20分まで
開 催 場 所	麻布区民協働スペース
委 員	出席者 6名 岡田委員長、富田副委員長、安梅委員、請川委員、白井委員、宮島委員
事 務 局	麻布地区総合支所管理課長 櫻庭 靖之、施設運営担当係長 駒井 担当 小林、宇野、小峰
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	1 開会 2 議題審議 議題1 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）について 議題2 運営事業候補者の決定について 3 閉会
配 付 資 料	[卓上配布] 資料1 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）について 資料2 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）表 資料3 第一次審査・第二次審査採点集計表 資料4 第2回港区放課GO→クラブあざぶ運営事業候補者選考委員会 会議録 ・プレゼンテーション資料 ・第一次審査（書類審査）集計表（参考資料）
会議の結果及び主要な発言	
事務局	1 開会 (事務局より本日のスケジュールについて説明)
事務局	2 議題審議 議題1 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）について (事業者Aによるプレゼンテーション実施)
委員長	それでは、質疑に入ります。
A委員	コロナの対策については、衛生管理だけでなく、子どもたちの主体性を育み、自ら対処できる能力を育てるという視点では、具体的にはどのような取

	<p>組をお考えでしょうか。</p>
事業者A	<p>子どもたちの主体性を育むために、子どもたちがおやつを食べる時、グループで活動をする時、手洗いや消毒をする時などに子どもたち同士が声を掛合える環境づくりを意識しています。</p>
A委員	<p>他の地域でも学童を運営されていますが、麻布地域の特徴をどのように捉えて、育成に活かしていこうとお考えでしょうか。</p>
事業者A	<p>麻布地域の保護者の方は、忙しい中で子どもたちに出来る限りのことをしてあげたいという思いで、一生懸命子育てをされていると思います。子どもたちも保護者の方の姿を見て、自分たちのできることを一生懸命取り組んで過ごしていると思います。そういった日々頑張っている子どもたちを認めてあげて、応援していけたらと思います。</p>
B委員	<p>2点質問させていただきます。</p> <p>1点目は、新1年生は初めての放課GO→クラブで緊張していると思うのですが、新1年生の受け入れの際に、どのような工夫や配慮をされますか。</p> <p>2点目は、施設長候補者は経験豊富ですが、人材確保のため、また、人材の流失や離職などを防ぐために、どのような工夫をされているかお聞かせください。</p>
事業者A	<p>新1年生の受け入れについて、まず学童や放課GO→クラブは、子どもたちにとって安心できる居場所であるという雰囲気伝えていきます。職員は、みんなの味方であり、困った時は必ず助けてくれる存在であるということを伝えます。そして、一緒にいる上級生のお兄さんやお姉さんが、この施設の中で楽しく過ごしているという姿を見てもらうことによって、1年生も安心して過ごすことができるのではないかと考えております。</p>
事業者A	<p>人材確保については、職員の働く環境が優れているという点をPRしています。職員体制はもちろん、メンタルケアに関しては、臨床心理士の巡回を実施したり、本社担当者に現場経験のある人を配置するといった対応をしています。</p> <p>人材流出への対策としては、本部で年3回ほど職員と定期面談を実施しております。いきなり面談してもなかなか本音は言いにくいので、本社の特定の部署と職員で直接やりとりが出来るクラウドシステムを導入し、自分の気持ち、キャリアプランなどのアンケートを取り、アンケートの内容に即した形で面談を実施し、職員の状況を把握しています。悩みや不安のある職員に対して早めに対応をすることで、職員の離職阻止につなげています。</p>
C委員	<p>3点質問させていただきます。</p> <p>1点目は、異年齢集団の子どもたちの関わりを謳われていましたが、その具体的な手立ては考えていますか。</p>

<p>事業者A</p>	<p>2点目は、外国籍児童の対応についてどのように考えていますか。 3点目は、学校側との連携についてですが、どのように連携していくのか具体的に教えてください。</p> <p>異年齢集団について、一つひとつの遊びや活動を通じて、上級生が下級生に配慮をしたり、また、下級生は、上級生に憧れの気持ちを持てるようなシチュエーションを構築することで、異年齢交流を実現していきたいと思えます。</p> <p>外国籍児童の対応については、当社は港区でも外国籍児童が利用されている保育施設を運営しております。アジア系や欧米系の方など、さまざまな文化の違いに対応しており、そのノウハウをもとに利用者に寄り添いたいと思っています。言葉が通じないということで、利用者は不安になってしまうので、不安な部分をしっかり見極めて、利用者に合ったペースで対応していくことを大切にしていきたいと思えます。</p> <p>学校との関係については、放課GO→クラブは、小学校の中にある施設ですので、子どもたちの活動や保護者対応、また、緊急時の対応など様々な場面で連携が求められると思うので、小学校の意向や要望の一つひとつ丁寧に対応し、信頼を重ねていきたいと思っております。</p>
<p>D委員</p>	<p>2点質問させていただきます。</p> <p>1点目は、施設長候補者の方は、6年の施設長経験があると提案書で見ましたが、リーダーとして職員の労務管理で心がけている点があれば教えてください。</p> <p>2点目は、先ほど、人材確保、人材流出を止めるという話がありましたが、今度は人材育成について、経験や具体例を教えてください。</p>
<p>事業者A</p>	<p>私は、職員の個々の性格、背景を知るということを大切にしています。</p> <p>真面目に仕事に取り組むのはとても良いのですが、真面目になりすぎてしまい、過度の残業や家にまで仕事を持ち込むことは避けなければならないので、個々の進捗状況や今後の仕事の取組について把握出来るようにしています。そして業務の最初と最後に必ず声をかけること、職員一人ひとりへ感謝の気持ちを込めて声をかけるようにしています。そして職員一人ひとりが負担にならないよう、笑顔で職務にあたってもらえるように心がけています。</p>
<p>事業者A</p>	<p>人材育成について、当法人で運営している施設というのは、子どもたちの命を預かる仕事になりますので、重い責任を背負う仕事であるという意識で、人材育成を行っています。学童施設ですので、小学生向けの関わり方や緊急時の対応など全般的な研修はもちろん、法人から頭ごなしに研修をおろすのではなく、現場の施設長たちに会議で今抱えている課題、それに対して必要な研修は何かということを考えてもらっています。</p>
<p>E委員</p>	<p>2点質問させていただきます。</p> <p>1点目は、プレゼンテーションの中で、保育施設から放課GO→クラブま</p>

事業者A	<p>で切れ目のない子育て支援とありましたが、具体的にどのような取組を考えているのか教えてください。</p> <p>2点目は、施設長候補者にお伺いします。今までの経験の中で、保護者や地域の方とのコミュニケーションで、何か工夫している点があれば教えてください。</p> <p>切れ目のない子育て支援に関して申し上げます。現在、保育施設を運営しており、0歳からお預かりし、小学校に就学するタイミングで卒園します。</p> <p>そして、小学生が利用する施設を運営することで、今度は0歳から小学校を卒業するまでの間、しっかりと子どもたちと関わり、保護者を支援することが出来ます。当社が運営施設をどこに展開するかを考える時は、この点を重要視しておりまして、やみくもに施設展開をするわけではありません。</p> <p>今回、放課GO→クラブあざぶを応募するにあたっては、この近隣で子育て支援施設を運営しているので、切れ目のない子育て支援を実現するためにチャレンジさせていただきました。</p>
事業者A	<p>保護者の方とのコミュニケーションについて、保護者の方からお電話をいただいた時の時間を大切にし、子どもに関するだけでなく、保護者の方の体調なども気にかけて、声をかけるようにしています。連絡帳には、子どもたちの様子を可能な限り記入しています。特に言葉数の少ない子どもに関しては、様子を細かくにお伝えするため、連絡帳を活用しています。地域の方との連携については、元気な子どもたちの声が負担になる方もいらっしゃるのでは、挨拶一つについてもこちらからするように心がけています。また、子どもたちに折り紙や工作などを教えてくださいのボランティア活動をしている方もいらっしゃるのでは、地域の方への声かけや交流を大切にしています。</p>
F委員	<p>施設長候補者にお伺いします。現場経験が豊富だと思うのですが、仮に放課GO→クラブあざぶで運営をスタートした時に、あざぶで取り組みたいこと、夢があればお聞かせください。</p>
事業者A	<p>月並みではありますが子どもたちが、来て良かった、また来たいな、疲れているけど行ってもいいかなと思ってもらえるよう、職員の笑顔や声かけを大事にしたいと考えています。毎日子どもたちが当たり前に通う施設だからこそ、行けば何となく元気になれる、不安な事があっても安心して帰れるということを感じてもらえるような施設づくりを目指していきたいと思っています。</p>
委員長	<p>それでは、時間となりましたので、プレゼンテーション及び質疑を終了いたします。</p> <p>(事業者A退席)</p> <p>(事業者Bによるプレゼンテーション実施)</p>

委員長	<p>それでは、これからヒアリングに入ります。</p>
A委員	<p>麻布地域の特性を理解しながら、様々な取組をされているということがよく分かりました。感染症対策は、衛生管理ともう一つ重要なことがあります。それはどんなことでしょうか。</p>
事業者B	<p>日常の換気や手指消毒、あとは密にならないように子どもたちを離すことなどです。</p>
A委員	<p>それは衛生管理の事ですね。子どもたちのエンパワーメントが大切で、子どもたち自身が自分で予防できる、それからきちんと情報を得て、心理的なストレスを軽減できるなど、児童一人ひとりの自主性、社会性、創造性を育むということも感染症対策の一つのテーマだと思います。感染症対策について、子どもたちが自ら行動を起こし、主体性を引き出すような関わりはどのようなことをされますか。</p>
事業者B	<p>「こども会議」などを開いて、子どもたちで考えてもらいます。</p>
B委員	<p>2点質問させていただきます。 1点目は、新1年生は初めての放課GO→クラブで緊張していると思うのですが、新1年生の受け入れの際に、どのような工夫や配慮をされますか。 2点目は、人材確保のため、また人材の流失や離職などを防ぐために、どのような工夫をされているかお聞かせください。</p>
事業者B	<p>4月初めは、保護者の方と離れるということで子どもたちは悲しい気持ちになるので、私たちから声かけをするなど子どもたちに寄り添います。そして、上級生と遊ぶような異学年交流を行います。名前を覚えてもらうため、名刺交換のような形をとり、自己紹介をしながらお互いの名前を覚えていくような遊びや、保育園等で人気があるプラバンのような遊びを一緒に楽しみます。</p>
事業者B	<p>人材確保については、業務の様子や内容の情報発信をホームページで行っています。そこで応募いただいた方々に、リーダーや統括マネージャーを含めた面接だけではなく、施設見学を通して丁寧に説明をさせていただき、ミスマッチが起きないように事前に準備をして採用を行っています。 離職防止については、年間を通して継続的な研修と面談を行い、リーダーだけでなく、本部も一丸となって、悩みや考えていることを聴いて解決していく体制をとっています。</p>
C委員	<p>3点質問させていただきます。 1点目は、麻布地区の子どもたちの強み弱み、特徴や課題があれば教えてください。 2点目は、安心安全の観点から、事故の未然防止に努めていると思うので</p>

<p>事業者B</p>	<p>すが、どうしても人と関わるのでヒヤリハットがあると思います。最近起きたヒヤリハットの事例とその対応があれば教えてください。</p> <p>3点目は、学校で使用するタブレット、また今の子どもたちはスマホを持っている子が多いのですが、情報モラル的な決まりがあれば教えてください。</p> <p>麻布地区の強み弱み、特徴や課題については、地域的に外国籍の方たちも多く来るというところで、子どもたちは、外国籍の方たちにも心を開けるような関係になっていると思います。</p> <p>ヒヤリハットについて、今のところ大きな問題はありませんが、もし今後ヒヤリハット事例が発生したら、全体ミーティングで話し合い、誰でも確認ができるようにファイリングして管理します。</p> <p>ICT関係について、現在運営している施設では、学校での宿題はタブレットを認めており、ゲーム関係は使用出来ないと伝えています。学校の意向や要望も確認し、学校と連携していきたいと思っています。</p>
<p>D委員</p>	<p>2点質問させていただきます。</p> <p>1点目は、施設長候補者の方にお伺いします。日ごろ労務管理をする上で心がけている点を教えてください。</p> <p>2点目は、本部の方にお伺いします。先ほど人材確保の話をしていましたが、人材育成について、非常勤の方も含めて研修を受ける機会があるのか教えてください。</p>
<p>事業者B</p>	<p>指導員が足りない場合は本社へ連絡し、ヘルプを要求します。働きやすい環境を作ることを大切にしています。自信をもって指導員が仕事をできるように、就業前のミーティングや、いざ何かあったときに動けるような役割分担なども、毎日確認しています。</p>
<p>事業者B</p>	<p>人材育成面の研修については、階層別研修というものがございます。役職のまだついていない一般指導員、また時給制でお仕事をされている契約の方など、各階層に合わせて研修を行っております。遊びに特化した研修、発達障害の方への対応方法についての研修、ストレス、メンタル、アンガーマネジメント研修など、どの階層の方でも受講できるテーマ別研修も用意しています。現状は、コロナ禍というところで、リモートでの研修を充実させています。</p>
<p>E委員</p>	<p>2点質問させていただきます。</p> <p>1点目は、冒頭で40施設を管理していると話があり、港区内にもいくつか施設を管理しているかと思っています。放課GO→クラブあざぶとどのように連携をとっていかようと考えているのか教えてください。</p> <p>2点目は、日々保護者や地域の方とのコミュニケーションを密にするというお話がございましたが、具体的に工夫している点があればそれぞれ教えてください。</p>

事業者B	<p>港区内で運営している他施設との交流に関しては、とても重要視しており、積極的に行っていきたいと考えています。人材面はもちろん、ドッチボール大会のイベントは、港区の近隣施設だけでなく、他の自治体の施設とも共同で実施しています。研修については、施設・地域関係なく実施しています。グループワークでの意見交換では、ぎっくばらんに、他施設の状況や取組について意見交換をしています。</p>
事業者B	<p>保護者の方との交流について、保護者の方には、お迎えの際に今日の子どもの様子を伝えたり、ケガなどがあった場合は、小さなことでも首から上のケガは必ず連絡をして指示を仰ぎ連携をとっています。</p> <p>地域との連携については、イベントの際に協力をお願いしていくつもりです。高齢者施設においては、音楽や作品の出展などを通して交流していこうと考えております。まだ企画の段階ですが、近隣の八百屋さんにお金を持って、グループでお買物体験のようなことをしていこうかと思っています。自分たちの住んでいる土地には、こういうお店があるということ、自分たちの目で見てもらうような企画を考えています。</p>
F委員	<p>上級生が1年生を面倒見てあげるということは、大事な事だと思うのですが、同時に1年生は幼稚園・保育園を卒業してお兄さん・お姉さんになっています。新1年生に対して、その成長を叶えるために考えていることや企画していることはありますか。</p>
事業者B	<p>まずは、子どもたちが行くことを嫌がらない環境づくりをします。そして保護者の方に安心してもらえるような環境づくりもしていきます。保護者への報告や、子どもたちへの声かけをしながら、なんでも相談できる環境を整えていきますので、安心していただけたらと思っています。</p>
委員長	<p>それでは時間となりましたので、事業者によるプレゼンテーション及び質疑を終了いたします。</p>
事務局	<p>議題2 運営事業候補者の決定について 第二次審査結果の説明</p> <p>事業者Aは、1815点満点中1154点で、加点項目分を除く得点率は64.1%という結果です。</p> <p>事業者Bは、1815点満点中1366点で、加点項目分を除く得点率は75.7%という結果です。</p>
委員長	<p>それではこの点数を受けまして、各委員の皆様からご講評をお願いし、内容を審議いたします。</p>
A委員	<p>事業者Aは、非常に具体性に欠けており、かつ施設長候補者の方が麻布地区の特徴をあまり理解されていないようだったので、少し劣るという評価をしました。</p>

B 委員	<p>事業者Bは、麻布の地域特性を理解した上で、提案がとても具体的で本部のサポートも出来ていると安心していたのですが、施設長候補者の方がヒヤリハットを答えられなかったというのが少し残念でした。</p> <p>事業者Aは、麻布地区の特徴を理解していないので低い評価となりました。港区外の施設も運営されているので、具体的なことを語れると思うのですが、ほとんど聞けず、どんなことをしてくれるのかイメージが持てなかったので、お任せするのは不安だと思いました。また、施設長候補者の方は、経験は積んでいるのに給料が低く、人材流出のことをお尋ねしたのですが、処遇改善の話は出てきませんでした。保育所を沢山運営している事業者なので、もしかしたら保育園並みの給料で抑えているのかなと思い、少し心配になりました。</p> <p>事業者Bは、施設長候補者の方は経験豊富な方なので安心なのですが、ヒアリングでは少し不安になるところはありました。しかし、1年生の受入れの件やじゃんけんゲームで名前を覚えることなど、具体的なイメージはあるのかなと思いました。</p>
C 委員	<p>事業者Aは、基本理念もしっかりしていて安定感はあるのですが、具体性が見えなかったので、少し突っ込んで聞いてみましたが、一般論で終わってしまいました。特に学校との連携をどうしていくかというところで安心感が持てなかったことが一番大きかったです。</p> <p>事業者Bは、麻布地区の子どもたちの強みだけではなく、弱みや課題を把握した上で、どのような取組をしていきたいか聞きたかったです。そして今後、学校と連携して運営していこうと考えている姿勢を評価しました。</p>
D 委員	<p>事業者Aは、人材育成の研修について、キャリア形成や組織としての対応が出来ていないと思ったところがありました。提案書も含めて具体性が無かったので、少し劣るという評価をしました。</p> <p>事業者Bは、受け答えの中で、しっかりとした自信が見受けられたので、評価をしています。</p>
E 委員	<p>事業者Aと事業者Bを比べた際、事業提案の実現性について、事業者Aは、一般的で見えなかったものに対して、事業者Bは色々なプログラムや異学年交流など、具体的に見えるものが提案されていました。安全対策・危機管理の面でも事業者Bの方が、ハザードマップや避難訓練のチェック体制など、具体的にきめ細やかに提案されていたので評価しました。そこは大きく差が開いた部分だと思いました。</p>
F 委員	<p>事業者Aは、一次審査については評価したのですが、二次審査では一次審査の提案書をそのまま話しているだけで、概論で終わってしまっていると感じました。</p> <p>事業者Bは、事業実績が十分にあり、事業内容事体はとても豊かで良かったです。施設長候補者については、委員の皆さんからの質問に対して的確な</p>

	<p>対応に欠けるところがあり、私の質問に対してもやはり極めて常識的な教科書とおりの回答でしたので、もう少し現実をしっかりと認識して語っていただきたかったです。</p>
委員長	<p>各委員からの意見を受けて、点数の変更はございますでしょうか。</p>
全委員	<p>(変更なし)</p>
委員長	<p>それでは、第一次審査・第二次審査合計点数を発表します。 事業者A 合計点数 1154点 得点率64.1% (加点項目分除く) 事業者B 合計点数 1366点 得点率75.7% (加点項目分除く)</p> <p>よって、港区放課GO→クラブあざぶ運営事業候補者は事業者Bでよろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>了承</p>
委員長	<p>それでは、当委員会として、港区放課GO→クラブあざぶ運営事業候補者は事業者Bに決定いたします。 事務局は、決定した運営事業候補者を発表してください。</p>
事務局	<p>港区放課GO→クラブあざぶ運営事業候補者として決定した事業者Bにつきましては、株式会社パソナフォスターでございます。</p> <p>3 閉会 以上をもちまして、港区放課GO→クラブあざぶ運営事業候補者選考委員会を終了いたします。</p>